

# きれいなバブル形成のためのコロナ通信 3回目

静岡県にもやはり第4波が到来？しましたが、年代別選手権が5月16日（日曜日）静岡県武道館にて開催予定です。それにあわせての、最近のコロナ感染症に関する情報をお届けする予定4回のうち3回目です。

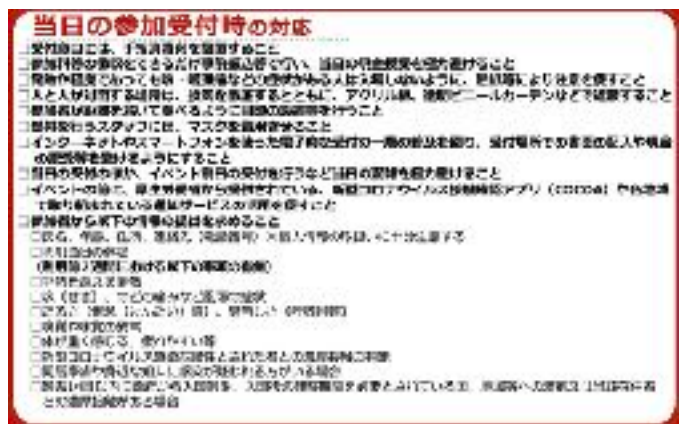
今回は、本日から試合までの2週間の健康調査票を記入する意味についてと、新型コロナウイルス感染症にかかった時に役立つ情報についてお知らせします。

## 1、健康調査票を2週間記入して提出する意味

最近、「健康調査票を提出するとコロナ感染症にかからないのか？」そんな疑問を問いかけてくる人が運営サイドにも増えてきました。一体、何のためにこんなに詳しい情報を毎日、夏休みの日記帳みたいに宿題をこなすような辛い気持ちで書いて提出しなければならないのか？誰からもその根拠を聞いたことがなく、気がくるっちゃうと思っている方は、参加者のみではなく、主催者側の方にもたくさんおられます。その根拠となる資料はこれです。

[https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline\\_ikkatsuban.pdf](https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline_ikkatsuban.pdf)

日本スポーツ協会のHPに公開されているスポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドラインに、右の記載、「当日参加時の対応—参加者から以下の情報の提出を求めること」に記載されている内容から各団体が各自に調査票を作成しています。有事にはこれを根拠に日本スポーツ協会、スポーツ庁、文部科学省からの調査が主催者に対して行われることになるでしょう。



嘘を書いてしまえばわからない、県外に出たと記載があっても年配のえらい先生やその関係者は厳しく対処されないなど、その運用に少しでも問題があると、2週間もみんなが努力して記録しても調査票の意味がなくなるのは事実です。ですから、健康調査票に関しては、**参加者全員の気持ちが1つにまとまるよう**真面目に記入し、真面目に対処を実施する必要があります。剣道試合審判規則1編試合第1章総則第1条の精神を思い出してみましょう。「・・・剣の理法を全うしつつ、**公明正大**に試合をし、**適正公平**に審判することを目的とする。」健康調査票を運用する側であるわれわれの適正公平な態度が、記入する側の公明正大な記入を促すと考えられます。

4月21日静岡新聞朝刊の記事に大阪の大学生のこのような言葉が載っていました。「1回目も2回目も緊急事態宣言が出ても**大人はみんな外に出ていた**。わたしはこれまで家にいたけれど、大人が誰も守らないなら3回目は遊びに出かける。」この言葉は重いな、世の気分をよく表しているなと思いました。いかがですか？わたしはこれを身勝手な発言だと単純に片付けてはいけな

剣道の場合特に、選手やそのご家族は主催者に対して敬意を抱き、たいへん協力的です。ともすれば、役員、審判、会場係など模範を示すべき主催者側が健康調査票や感染症対策に対して中途半端な扱いに流れ、公明正大な記入を蔑ろにし、適正公平な対処が甘くなっている傾向はないでしょうか。今一度、範を示すべき主催者たるわれわれこそが身を正し、協力的な参加者の気分を害さない適正公平な運用を心がけたいと、新聞の大学生の発言を受け考えたものです。

ちなみに、全日本選手権の選手の調査票は、2週間、毎食、誰とどこで食事したかを記録し提出しています。全国トップレベルになるとそこまで徹底した調査を実施しています。プロ野球（ライオンズ）では観客の調査票に加え、PCR検査も始まりました。県レベルの大会に見合った内容の健康調査票を主催者と選手、その他の参加者全員のコミュニケーションツールとして最大限に活用し、きれいなバブル形成に役立てたいと考えています。「明日の飲み会、調査票を見せながら試合のことを話して参加キャンセルしよう」、勇気を持ってそんなふうに行動してもらえたらと願っています。そして、「飲み会キャンセル」と調査票の**自由記載欄に記入し、頑張ったことをアピールしてください**。率先垂範、互いの**努力を称え合うツール**に健康調査票を2週間かけて育ててみてください。ご協力よろしく申し上げます。

## 2、新型コロナウイルス感染症にかかった時に役立つ情報

おや?と思ったら相談しましょう。**正常性バイアス**「自分は大丈夫」と考えてしまうのが人間です。ご注意ください。病気の治療は後手にまわるとたいへんです。剣道だけでなく、コロナの治療も先をかけましょう。静岡県民は、**かかりつけ医か発熱等受診相談センターに電話**するところからコロナの検査や治療が始まります。

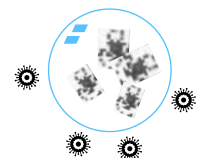
<https://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/kansen/new-cov.html#hatsunetsutoujushinsoudancenter>

発熱等受診相談センターの電話番号	
名称	平日9時30分～17時15分
市役所本部	(054) 8271-2064
静岡保健所	(054) 8271-2062
浜北保健所	各自治体の保健センターも、遠隔対応に合致します。

指示に従って検査を受けます。症状が軽い場合には、自宅あるいはホテルでの療養となります。ホテルでの療養の様子は、東京の情報ですが、参考になる動画があります。ご覧ください。<https://tokyodouga.jp/nvdplkj-p6y.html>

仕事のこと、試合のこと、家庭のこと、あれこれ気になると思います。しかし、元気に回復する患者さんは症状が軽いうちからちゃんと病気になりきって、療養に専念するのが上手です。ためらわずにまっすぐ医療関係者に身を預けてみてください。大丈夫。

**5月2日本日からバブル形成を意識した生活をお心掛けください。**また、ご家族の皆さまや職場の皆さまへのご協力もお声掛け申し上げます。県レベルの大会をこれからも成功させ続けるには、身近な仲間とのバブル形成を日頃から意識し、声をかけあうことはとても大切なこととわれわれは考えています。ご協力よろしく申し上げます。



**藤枝ご当地情報：**蓮華寺池公園周辺の情報を少し。今回は文字だけで失礼します。1、**鮎波神社**：たいへん歴史のある神社で3年に一度、藤枝をあげての大きな祭りがあります。オリジナルアマビエお守りあります。2、そば、ラーメン：とても多くのお店があります。**八兵衛**は不動のそば名店です、勝ったら記念に奮発しては。ラーメンは朝ラー文化があり、開店時間が朝食時間からという独特の文化があります。3、お菓子：洋菓子、和菓子の名店が多数あります。**ミラベル**は「ダミエ」など焼き菓子も充実したケーキ屋さん。**おたけ煎餅**は手焼きです、「ざらめ」大好きです。4、その他に、**からあげ大ちゃん**藤枝・郡店はメニュー充実してますよ、たんぱくパワー。焼津インターご利用の方は、**焼津さかなセンター**でマグロ、カツオ、干物をどうぞ。